

恵那支所ボランティア連絡会 エコキャップ収集活動のご報告

平成28年度に収集されたエコキャップは

19,500円 約975人分のワクチンに かわります

(ポリオワクチンの場合)

※金属キャップは引き取りできません
※キャップは水洗いしてお持ち込みください

みなさまのご協力により、今年度は左記の金額（3月15日現在）を送金することができました。このお金は国連ユニセフを通じて、世界中の子ども達へ届けるワクチンにかかります。今後ともみなさまからのご支援とご協力をお願い申し上げます。

恵那支所ボランティア連絡会
会長 鈴木隆文



みっちゃんルポ

エコキャップが製品にかわるまで

1 ボランティアさんにより、キャップが送り届けられます

2 キャップを機械で粉々に粉砕します

3 部材に再加工するため、ペレット化します

4 ペレットを融かして成型し、製品に再生されます

完成 再生された製品は、プラスチックタンボール製の折りたたみコンテナ「アパコン」のコーナーや取っ手部分に使用されます。

恵那支所ボランティア連絡会では、集めたエコキャップを長島町久須見にある「株式会社アパックス」さんに搬入し、換金していただきます。今回は、キャップがどのようにして製品にかわっていくのか、密着取材してきました。



株式会社アパックス 製造部係長の小川さんにインタビュー

Q エコキャップの再生事業に取り組む理由は？
A 当社は環境保護に積極的に取り組んでいます。利益が期待できる事業ではありませんが、地域の環境保護活動に貢献したいという先代社長の強い想いを引き継ぎ、活動しています。

Q 事業を続けるなかで大変なことは？
A 届けられるキャップの中にはシールやゴミなどが付着しているものがあり、機械の傷みには悩まされます。

Q 事業を通して成果を感じることって？
A たくさんのキャップを届けてくれた小学生や中学生たちに、「ありがとう」と言われるときは、この事業を続けてきて良かったと感じます。



ご協力ありがとうございました。

取材協力

株式会社アパックス 営業本部
岐阜県恵那市長島町久須見1305-4
0573-25-8455 <http://www.appax.com>